

都市再生の推進に係る有識者ボード 防災WGについて

1. 背景・問題意識

- ・東日本大震災は我が国の経済の牽引役となる首都圏の都市機能にも大きな影響を与え、例えば、新宿駅周辺は、超高層ビルからの避難者と交通結節点に向かう帰宅困難者等により、人があふれ、大きな混乱を引き起こした。
- ・一方で、一体的に防災対策が講じられている六本木ヒルズのエリアでは、帰宅困難者の対応も含め、混乱なく災害への対応が行われたほか、自立型のエネルギー源が確保されていたため、都市機能の低下も防がれた。
- ・今後、首都直下地震等が発生した場合、新宿駅周辺のような交通結節点周辺の高層ビル、地下街等が集積するエリアにおいては、避難者の集中等による大混乱により、甚大な人的被害が発生するとともに、大都市の都市機能が大きく損なわれる恐れがある。
- ・こうしたエリアにおける被害を防ぐためには、エリア全体の防災対策の検討が必要であるが、現行の防災対策に係る計画体系に加えて、エリア全体での防災対策の強化に資する新たな枠組みが必要ではないか。

2. 目的

都市再生の推進に係る有識者ボードに、防災まちづくりの専門家による防災WGを設置し、人口・機能が集積したターミナル駅周辺等のエリアに係る防災対策の充実のあり方について、下記の検討事項に関する専門的な調査・検討を行うことを目的とする。

3. 検討事項

① 災害発生時の事象について時系列での分析

- ・災害発生後の時間の経過とともに、どのような事象が発生し、どのような対策が必要となるか等（災害直後の人的被害防止、安全な場所への避難、業務の継続性の確保等）

② エリア単位での防災計画の必要性等

- ・上述①の分析を踏まえて、エリア単位での防災計画の必要性
- ・エリア単位での防災計画に盛り込むべき内容 等

③ エリア単位での防災計画の策定主体等

- ・エリア単位での防災計画の策定主体のあり方
- ・エリア単位での防災計画の策定における関係者間の連携のあり方 等

④ エリア単位での防災計画に連動して必要となる措置

- ・規制措置の緩和・強化
- ・財政支援・金融支援の対象 等

4. WGメンバー

(座長) 中林 一樹 (明治大学大学院 特任教授)
朝倉 康夫 (東京工業大学大学院 教授)
加藤 孝明 (東京大学生産技術研究所 准教授)
小林 恭一 (東京理科大学総合研究機構 教授)
丸谷 浩明 ((財)建設経済研究所 研究理事)
村上 正浩 (工学院大学建築学部 准教授)

(オブザーバー) 国土交通省 (住宅局、都市局、鉄道局)
内閣府 (防災担当)
消防庁
警察庁

(事務局) 内閣官房 地域活性化統合事務局